

1. 科目名 (単位数)	臨床心理査定特殊研究 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP7256
2. 授業担当教員	大島 朗生		
4. 授業形態	演習と実習を中心に行う	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	臨床心理査定において中心となっている心理検査の標準化について論文購読を通して研究し、既存のテストの信頼性、妥当性について比較検討する。そして、代表的な心理検査について実習を行い、体験的に各心理検査の有用性について理解を深める。		
8. 学習目標	1 各種心理検査の科学性について理解する。 2.臨床心理査定における研究技法を体験的に学ぶ。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1.心理検査を用いた臨床心理査定を行い、その結果を心理検査報告書としてまとめる。 2.代表的な心理検査を比較検討してレポートとしてまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】特に指定しない 【参考書】氏原寛 2006『心理査定実践ハンドブック』 創元社 松原達哉 編著 2013『臨床心理アセスメント 新訂版』 津川律子 2019『心理的アセスメント (公認心理師の基礎と実線 14 巻)』 高瀬由嗣, 関山徹 2020『心理アセスメントの理論と実践』		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 臨床心理査定の本質を学び、各種心理検査の科学性について理解し、適切に実施できるようになったか。 ○評定の方法 授業への積極的参加、日常の受講態度、課題レポート等を総合して評価する。 1 授業への参加態度(授業態度、積極的参加) 総合点の30% 2 心理検査報告書 総合点の40% 3 課題レポート 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	授業で学んだことを実践に結び付けていくことができるよう、質疑応答・議論を積極的に行い、主体的に学ぶとする姿勢で授業参加することを期待します。		
13. オフィスアワー	曜日と時間については初回授業時に周知します。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ, 学習の目標, 学習の内容, キーワード, 学習の課題, 学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	「臨床心理査定」の概要と倫理		
2~4 テーマ	心理検査における標準化と各種心理検査の科学性		
	【学習の目標】 心理検査の標準化について理解する。 【学習の内容】 心理検査の作成方法と標準化について体験的に学ぶ。 【キーワード】 標準化、客観性、信頼性、妥当性 【学習の課題】 上記学習の内容をふまえて、有用な心理検査について考察する。 【参考文献】 松原達哉『臨床心理アセスメント 新訂版』 【学習する上での留意点】 心理検査の「科学性」について理解する。		
5~7. テーマ	臨床心理査定における心理検査		
	【学習の目標】 臨床心理査定の本質について理解する。 【学習の内容】 心理検査を通じた臨床心理査定について演習を行う。 【キーワード】 観察、面接、心理検査、フィードバック 【学習の課題】 上記の学習内容をふまえて臨床心理査定法の技法を習得する。 【参考文献】 松原達哉『臨床心理アセスメント 新訂版』 【学習する上での留意点】 臨床心理査定における心理検査の位置づけについて理解する。		
8~14. テーマ	各種心理検査の実施		
	【学習の目標】 心理検査を実際に実施・体験し、比較検討する。 【学習の内容】 性格検査、発達検査、適性検査等を実施し、質問紙法と投影法の相違点などについて検討する。 【キーワード】 パーソナリティ、性格、知能、発達、適性、質問紙、投影法 【学習の課題】 実際に心理検査を体験学習することにより、各種心理検査の特徴について理解する。 【参考文献】 松原達哉『臨床心理アセスメント 新訂版』 【学習する上での留意点】 各種心理検査の特徴を理解し、テストバッテリーについて理解する。		
15. テーマ	全体のまとめ		
	【学習の目標】 臨床心理査定における研究技法について整理する。 【学習の内容】 臨床心理査定における面接法、観察法、心理検査において、心理臨床に活かすべく土台となる研究的観点について検討する。 【キーワード】 面接法、観察法、心理検査、科学性、客観性 【学習の課題】 臨床心理査定における研究技法を習得する。 【参考文献】 松原達哉『臨床心理アセスメント 新訂版』 【学習する上での留意点】 臨床心理査定における科学的研究の重要性について理解する。		